



萩・石見空港東京線を活用した地域活性化

1. 利用者数の推移



2. コンテスト枠活用による取組み・効果

- ① 首都圏との経済・教育分野における交流を通じた地域創生
- ② 近隣空港と連携した観光客の広域周遊
- ③ 地元自治体の政策課題解決に向けた空港利用
- ④ 企業立地計画認定数の増



R元.5.24

石見臨空ファクトリー
パークへの新規立地認定

3. 取組みの具体例

首都圏との都市間交流

- ・ 地元自治体が行ってきた首都圏自治体との友好都市交流（スポーツ・文化など）をベースに、地元経済界も一緒になって首都圏の自治体・企業・教育機関との交流を展開
- ・ 交流を通じた「ひとの流れ」を創出するとともに、「まち・ひと」が育つ仕組み（サイクル）へ発展することを期待

Topics

益田商工会議所と川崎商工会議所が友好協定締結 (R元.6.26)

- ▶ 両商工会議所間の交流事業による、空港利用促進や新たなビジネス機会の創出が図られていく

都市間交流の仕組みを活用した首都圏への修学旅行の拡大

- ▶ 昨年度、地元中学生が修学旅行で川崎市内の企業経営者などとの語らいを実施
首都圏で働く方の思いや考え方に触れ、自らのキャリア設計に活かす機会に

- ➡ この評判が伝わり、今年度は他の中学校・高等学校でも修学旅行先を関西方面（バス・JR）から関東方面（飛行機）へ切り替え、企業等との交流が実施されている



空港間を結ぶサイクリングコースの造成

- ・ 岩国錦帯橋空港 (IWK) から萩・石見空港 (IWJ) をつなぎ、錦川と高津川を巡るサイクリングコース「清流IWA=IWAライド」を造成
- ・ YouTubeでのPR動画配信やANA職員によるモニターツアーを通じてサイクリスト誘客を促進

Topic

民間によるコース活用（インバウンドツアーの開催）

- ▶ 10月には「しまなみ海道」と「清流IWA=IWAライド」を巡る訪日外国人向けツアーが民間主催で実施予定





都市間交流の進化（深化）に向けた展開

1. 経緯

- 萩・石見空港東京線の利用拡大に向け、地元自治体や経済界を中心に、首都圏自治体や企業・教育機関との交流を進めてきました（「経済」・「教育」分野における都市間交流）。
- 今後、既存の交流による「ひとの流れ」をより活発化し、交流の裾野を他の空港圏域市町や首都圏の関連団体に拡大することが必要です。
- 一方で、圏域間のさらなる連携強化や新たな「ひとの流れ」の創出には、新たな分野での交流拡大も必要と考え、「福祉」分野に着目し、就労体験を通じた試験的な交流を進めます。



2. 就労体験プロジェクトの概要（川崎市の場合）

コンセプト

- ワクワク・ドキドキの「働く場」の提供
- “もてなされる側”から“もてなす側”へ
- 参加者には「交通費」として2,000円を支給
- 行政の財源に頼らないスキームの構築
- コストの転換

○実施例

- ・川崎フロンターレ（Jリーグ）ゲームでの清掃作業、ビラ配布
- ・川崎ブレイブサンダース（bリーグ）ゲームでの会場設営、チラシ折込

〈企業〉スポーツチームなど

場の提供・協力

川崎市

参加者の募集
名簿作成
支援機関との調整

就労体験

- ・スポーツイベント等を活用して開催
- ・体験を通じた就労意欲の喚起
- ・3～6時間程度の仕事
- ・1企画平均10名（複数の支援機関）参加

就労体験の企画
企業との調整
統括スタッフ参加

ピープルデザイン
研究所

体験参加
※支援員も参加

〈支援機関〉福祉施設等

※交通費は企業やピープルデザイン
研究所（企業からの協賛金）から
支給

今後、川崎市やピープルデザイン研究所の協力を得ながら、就労体験の実施に必要なノウハウ取得を進め、将来的には県内各地での就労体験実施や体験を通じた人材交流に繋げていきます。

島根県
（空港圏域）

県内での実施に向けたサポート

首都圏
（川崎市）

就労体験の視察・参加

プロレスラー日高郁人氏のご協力により、
「ご縁の国しまねツアー
2019益田大会」（11/10）
において、県内初となる
就労体験の実施が決定！！

令和元年度 荻・石見空港 利用者数(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	合計
過去実績	平成28年度	7,630	9,406	9,050	10,005	12,549	10,707	59,347	11,088	12,046	9,425	8,292	7,231	12,053	119,482
	平成29年度	8,942	10,857	9,847	11,910	15,960	14,522	72,038	12,604	12,668	11,641	10,271	8,935	12,952	141,109
	平成30年度(A)	9,443	11,682	12,540	11,031	16,282	13,556	74,534	13,541	13,979	11,214	10,099	10,253	13,213	146,833
平均	8,672	10,648	10,479	10,982	14,930	12,928	68,640	12,411	12,898	10,760	9,554	8,806	12,739	67,168	135,808

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	合計
目 標 (B)	10,500	12,300	11,200	12,200	16,200	14,500	76,900	13,600	13,800	11,200	10,100	9,500	12,900	71,100	148,000
前年度比 (B)÷(A)	111.2%	105.3%	89.3%	110.6%	99.5%	107.0%	103.2%	100.4%	98.7%	99.9%	100.0%	92.7%	97.6%	98.3%	100.8%

実績 (C)	11,039	12,389	11,308	11,042	15,875	61,653						0	61,653
前年度比 (C) ÷ (A)	116.9%	106.1%	90.2%	100.1%	97.5%	82.7%						0.0%	42.0%
実績(C)－前年度(A)	1,596	707	▲ 1,232	11	▲ 407	675						0	675
実績(C)－目標(B)	539	89	108	▲ 1,158	▲ 325	▲ 747						0	▲ 747

